

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

製品名称：Anti Mucin M-GGMC-1 [GlcNAc  $\alpha$  1-], Rat (Mouse)  
製品番号：25503-96 (メーカー略号: KAN)  
構成品名：Anti Mucin M-GGMC-1 [GlcNAc  $\alpha$  1-], Rat (Mouse)  
会社名：コスモ・バイオ株式会社  
住所：東京都江東区東陽二丁目2番20号  
担当部署：製品情報部  
電話番号：03-5632-9610 FAX：03-5632-9619  
e-mail address：mail@cosmobio.co.jp  
推奨用途及び使用上の制限：試験研究用試薬

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

##### 健康に対する有害性

急性毒性(経口): 区分 3  
急性毒性(経皮): 区分 2  
皮膚腐食性/刺激性: 区分 2  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 1  
特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 2(心血管系、中枢神経系、肺、全身毒性)  
特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2(心血管系、中枢神経系)

##### 環境有害性

水生環境有害性 短期(急性): 区分 2  
水生環境有害性 長期(慢性): 区分 2

#### GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

#### 危険有害性情報

飲み込むと有毒  
皮膚に接触すると生命に危険  
皮膚刺激  
重篤な眼の損傷  
臓器の障害のおそれ(心血管系、中枢神経系、肺、全身毒性)  
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(心血管系、中枢神経系)  
水生生物に毒性  
長期継続的影響によって水生生物に毒性

#### 注意書き

##### 安全対策

環境への放出を避けること。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
眼、皮膚、衣類につけないこと。  
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。  
保護手袋/保護衣を着用すること。  
保護手袋を着用すること。  
保護眼鏡/保護面を着用すること。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

##### 応急措置

漏出物を回収すること。  
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。  
直ちに医師に連絡すること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。  
皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。  
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
口をすすぐこと。  
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。

**貯蔵**

施錠して保管すること。

**廃棄**

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

---

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

成分名	含有量 (%)	CAS RN <sup>®</sup>	化審法番号
アジ化ナトリウム	4.8	26628-22-8	1-482

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

**危険有害成分**

毒物及び劇物取締法「毒物」該当成分 アジ化ナトリウム  
安衛法「表示すべき有害物」該当成分 アジ化ナトリウム  
安衛法「通知すべき有害物」該当成分 アジ化ナトリウム

---

### 4. 応急措置

**吸入した場合**

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪いときは医師に連絡すること。

**皮膚(又は髪)に付着した場合**

汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。  
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

**眼に入った場合**

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
直ちに医師に連絡すること。

**飲み込んだ場合**

口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。  
直ちに医師に連絡すること。

**応急措置をする者の保護**

適切な換気を確保する。  
救助者は保護手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

**医師に対する特別な注意事項**

経口・経皮毒性を有する製品。医師にばく露物質名、防護のための注意を通知する。

---

### 5. 火災時の措置

## 消火剤

### 適切な消火剤

水噴霧、泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用すること。

### 使ってはならない消火剤

データなし

### 特有の危険有害性

消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。

### 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

#### 特有の消火方法

消火水の下水への流入を防ぐ。

速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。

初期の火災には、粉末・二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災の際には、泡消火器などを用いて空気を遮断することが有効である。

#### 消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

風上から作業し、風下の人を退避させる。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

### 環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

### 二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

汚染箇所を水で洗い流すこと。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(注意事項)

粉じん、エアロゾルの発生を避ける。

#### 安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

#### 接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

#### 衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

### 保管

#### 安全な保管条件

施錠して保管すること。4℃で保存すること。

#### 安全な容器包装材料

ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレン

本製品に使用されている容器内で保管する。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：データなし

許容濃度

(アジ化ナトリウム)

ACGIH(1996) STEL: 上限値 (アジ化ナトリウムとして) 0.29mg/m<sup>3</sup>; (アジ化水素酸の蒸気として)  
0.11ppm (心臓障害; 肺損傷)

ばく露防止

設備対策

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

密閉された装置、局所排気装置を使用する。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

不浸透性の保護手袋を着用する。

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学用品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣(長袖作業衣)、保護長靴、保護服等を着用する。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態：凍結乾燥品

色：白色 - 淡赤色

臭い：ほとんど無臭

融点/凝固点：データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし

可燃性(ガス、液体及び固体): 可燃性固体

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし

引火点：データなし

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：データなし

動粘性率：データなし

水に対する溶解度：溶ける

n-オクタノール/水分配係数：データなし

蒸気圧：データなし

密度及び/又は相対密度：データなし

相対ガス密度(空気=1): データなし

粒子特性：データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

反応性

ハロゲン化アルキルと反応し、有機アジ化物を与えるおそれがある。

化学的安定性

通常の手扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

酸との反応では有毒かつ爆発性のアジ化水素酸を与え、重金属イオンとの反応では爆発性の  
金属アジ化物を与えるおそれがある。

避けるべき条件

直射日光、熱、火気

混触危険物質

酸、重金属  
危険有害な分解生成物  
アジ化水素酸、窒素酸化物

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

#### 急性毒性(経口)

##### [製品]

区分 3, 飲み込むと有毒

##### [成分データ]

[日本公表根拠データ]

(アジ化ナトリウム)

rat LD50=45mg/kg (DFGOT vol.20, 2003)

[Supplier's data]

(アジ化ナトリウム)

ATEmix=1452 mg/kg

#### 急性毒性(経皮)

##### [製品]

区分 2, 皮膚に接触すると生命に危険

##### [成分データ]

[日本公表根拠データ]

(アジ化ナトリウム)

rabbit LD50=20mg/kg (ACGIH, 2001)

[Supplier's data]

(アジ化ナトリウム)

ATEmix=645 mg/kg

#### 労働基準法: 疾病化学物質

アジ化ナトリウム

### 局所効果

#### 皮膚腐食性/刺激性

##### [製品]

区分 2, 皮膚刺激

##### [成分データ]

[日本公表根拠データ]

(アジ化ナトリウム)

ラビット 腐食性 (DFGOT vol.20, 2003)

[Supplier's data]

(アジ化ナトリウム)

ラビット 皮膚に適用後4時間で腐食性を示し、6匹中3匹が死亡した。

#### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

##### [製品]

区分 1, 重篤な眼の損傷

##### [成分データ]

[日本公表根拠データ]

(アジ化ナトリウム)

皮膚腐食性 区分1

呼吸器感作性又は皮膚感作性：データなし

生殖細胞変異原性：データなし

### 発がん性

##### [成分データ]

[ACGIH]

(アジ化ナトリウム)

A4(1996): ヒト発がん性因子として分類できない

催奇形性：データなし

生殖毒性：データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

区分 2, 臓器の障害のおそれ

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(アジ化ナトリウム)

心血管系、中枢神経系、肺、全身毒性 (DFGOT vol.20, 2003; ACGIH, 2001)

[Supplier's data]

(アジ化ナトリウム)

経口摂取による中毒事故で心臓の強い鼓動、気絶、心臓虚血を示す。また、極めて少量摂取した場合でも頻脈、過換気、低血圧を示す。

10-20gを摂取後、精神状態の変化、顕著なアードーシス、心律動異常、心拍数低下、低血圧を招き死亡した。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[製品]

区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(アジ化ナトリウム)

心血管系、中枢神経系 (NTPTR 389, 1991)

[Supplier's data]

(アジ化ナトリウム)

ラットの13週間反復経口ばく露試験の最高用量(20mg/kg/day)で臨床症状として嗜眠、努力呼吸、死亡、組織学的病変として大脳と視床に壊死が観察された。

さらに、2年間反復経口ばく露試験では最高用量(10mg/kg/day)で生存率の低下が見られた。

[区分2]

[日本公表根拠データ]

(アジ化ナトリウム)

肺 (NTPTR 389, 1991)

誤えん有害性：データなし

---

## 12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分 2, 水生生物に毒性

区分 2, 長期継続的影響によって水生生物に毒性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(アジ化ナトリウム)

藻類 (Pseudokirchneriellasubcapitata) ErC50=0.348mg/L/96hr (Aquire, 2010)

[Supplier's data]

(アジ化ナトリウム)

藻類 EC50m=11 mg/L

水溶解度

(アジ化ナトリウム)

よく溶ける (41.7 g/100 ml, 17°C) (ICSC, 2014)

残留性・分解性

[成分データ]

(アジ化ナトリウム)

直接測定(HPLC)による分解度:1% (既存点検)

生体蓄積性

[成分データ]

(アジ化ナトリウム)

log Pow  $\leq$  0.3 (Check & Review, Japan)

土壤中の移動性：データなし

オゾン層への有害性：データなし

---

### 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

可燃性溶剤と混合して、スクラバーを具備した焼却炉で焼却処理を行うこと。または、内容物/容器を  
地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

---

### 14. 輸送上の注意

国連番号またはID番号：1687

品名(国連輸送名)：アジ化ナトリウム

国連分類(輸送における危険有害性クラス)：6.1

容器等級：II

指針番号：153

注意事項 輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの  
防止を確実にを行う。

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当)：該当

国内規制がある場合の規制情報

毒劇法の規定に従う。

船舶安全法：毒物類 毒物 分類6 区分6.1

航空法：毒物類 毒物 分類6 区分6.1

---

### 15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

毒物(令第1条) アジ化ナトリウム(4.8%)(法令番号 1)

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険/有害物 アジ化ナトリウム(別表第9の9)

名称等を通知すべき危険/有害物 アジ化ナトリウム(別表第9の9)

化学物質管理促進(PRTR)法：非該当

消防法：非該当

化審法：非該当

---

### 16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN  
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN  
IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)  
IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)  
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)  
2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
JIS Z 7252 : 2019  
JIS Z 7253 : 2019  
Supplier's data/information  
ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。  
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。